

授業科目 加齢と身体

【担当教員名】 小林 量作、佐藤 成登志、古西 勇、 松本 香好美、椿 淳裕	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・ 看護・情報	
	開講時期	後期	必修選択	選択	
	単位数	1	時間数	15	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	○	○	
【概要・一般目標：G10】 人間の身体機能は加齢に伴い様々に変化する。骨、関節、筋肉、神経などの運動器、肺などの呼吸器、心臓、血管などの循環器は、日常生活の活動性を維持するために重要な身体器官である。このような身体器官がどのような経過をたどって変化するか、そのことが健康増進、リハビリテーション、要介護になる原因にどのように影響するか考える講座とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 超高齢社会とその課題についての知識を習得する。 2. 加齢と全身機能の変化についての知識を習得する。 3. 加齢と運動器の変化について知識を習得する。 4. 加齢と呼吸器の変化について知識を習得する。 5. 加齢と循環器の変化について知識を習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	高齢社会が担う課題 ー特に健康問題＝			1	講義、担当：小林 量作
2	加齢に伴う心身機能の変化とリハビリテーション・健康増進			2	講義、担当：小林 量作
3	加齢に伴う運動器の変化とリハビリテーション・健康増進（運動器慢性疼痛、肩痛）			2,3	講義、担当：佐藤 成登志
4	加齢に伴う運動器の変化とリハビリテーション・健康増進（主に腰痛）			2,3	講義、担当：佐藤 成登志
5	加齢に伴う運動器の変化とリハビリテーション・健康増進（主に下肢痛）			2,3	講義、担当：古西 勇
6	加齢に伴う呼吸器の変化とリハビリテーション・健康増進			2,4	講義、担当：松本 香好美
7	加齢に伴う循環器の変化とリハビリテーション・健康増進			2,5	講義、担当：椿 淳裕
8	試験			1, 2, 3, 4, 5	担当：小林 量作 他
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料	学習課題に応じて資料を配付する				
【評価方法】 出席を評点する。 授業最終日に試験を実施する。			【履修上の留意点】		